

# 桂川っ子

VOL.2

## 「目を離すな、手を離せ」

桂川町教育委員会  
教育長 佐谷千香子

かれこれ30数年前、私がまだ子育て真っ最中の頃、松田道雄という小児科医で教育評論家がこの文章を新聞に載せていました。

(要約)

私の医院に、ある母親と男の子が診察に来ました。私が『熱は？』と尋ねると『38度ちょっと』。『名前は何？』と聞いたら『風邪をひきました』。とすべて母親が答えるのです。

私はとうとうたまらず、『お母さんにきいているのではありません。どうぞお子さんに答えさせて下さい』と言いました。

今の子は手が行き届きすぎるといいます。

全く同感でした。当時学級担任をしていましたが、本当に、随分前から少子化の影響か、大人の手が行き

届きすぎると感じていました。

自分の子どもや孫に失敗をさせてはいけないと思い、可愛いさのあまり、ついおとなが手を先に出しすぎています。その時は、子どもにとつて確かに楽です。

しかし、子どもの将来を考えた時、果たして如何なものでしょうか。

社会はそんなに甘くありません。自分のできることは自分でさせてください。自分の頭で考えさせてください。

それでも目は離さないでください。子どもは無限の可能性を持っています。

甘やかさないで自立の後押しをしてください。

目を離さないで、手を離しましょう。



## 桂川小学校の五つのキーワード

桂川小学校校長 本田義隆

### 一、あいさつ

人と人がつながる第一歩です。子どもたちが、地域や家庭、学校で元気なあいさつができるように育てていきます。

### 二、聞き方

人を人として尊重することです。人が話をしているとき、黙って、うなずきながら、最後の語尾までしっかり聞く。

これは、話している人を大切にしていることです。

人を人として大切にすることです。人を人として大切にすることです。

### 三、ラジオ体操

人が生きていく根幹は、体力です。じつと座っているためには、体を支える、体を維持する力が大切になります。

体操という活動を丁寧に指導していくことで、コツコツ頑張ることやできるようになっていくことを通して体力を培っていきます。

### 四、家庭学習の習慣化

学習は、学校だけで完結するものではありません。

学校での学習が家庭への学習につながることもあれば、逆に、家庭の学習が、学校での学習を豊かにしていくこともあるのです。

生涯学習社会です。学び続ける姿勢を大切に育てていくためには、家庭学習の習慣化を進めることが重要です。

### 五、モジュール学習

モジュールとは、授業時間に変化をつけて、効果的に学習を組織することです。

モジュールを取り入れて、教科書を読む力をつけていきます。

毎日、十五分間教科書の音読を実施し、すべての子どもが教科書を読むことができることをめざします。

教科書を読む力は、子どもが学習するための基本です。大切にしていきます。